

きほくのまち人探訪



たかた きょう
高田 杏さん

有機農法にこだわりながら、家族で農業に励んでいる高田杏さん。今年1月、農林水産省から農薬や化学肥料を用いず、自然の恵みを活かして栽培された野菜(有機野菜)であると認定され、有機JASマークが付与されました。

夫の義勝さんが育てた有機野菜をより多くの人に味わってもらおうと、主に広報や商品開発を担当している杏さん。有機野菜は安心安全で体に良いのはもちろん、自分の力を最大限に使って成長するため、その分味

が濃く、元気な野菜に育つのだそう。杏さんは「人間も同じ。過保護にならず、自分の能力を活かすことが大事」と笑顔で話します。

「鬼北の畑でできた野菜は美味しい」、それを広めたい一心で日々PRに励んでいる杏さん。イベントに出店したり、インターネットを用いたりしながら、その魅力を発信しています。「都市部や海外の皆さんに、もっと鬼北の野菜を知ってもらいたい」と、目を輝かせます。また、あまり日持ちはしないという野菜の弱点を克服するため、現在加工品を提案中の杏さん。「鬼北の野菜を手軽に採ってもらい、鬼北の野菜で元気になってもらいたい」と、杏さんの優しさが広がります。

管理栄養士、野菜ソムリエや食育インストラクターなど多彩な資格を持つ杏さんは、現在、中医学(中国漢方)の勉強中。また、昨年9月には古民家を改修し、人と人をつなぐ場所を目指したカフェをオープンするなど、その明るさと向上心で走り続ける杏さん。「何事も失敗を恐れず、挑戦することが大事」と話すその目には、夢と希望が満ちあふれています。



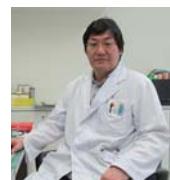
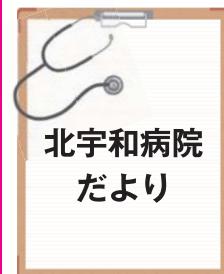
小春日和が心地良い中、ピニクと黄色の花のコントラストに感動しました。



三間川沿いに咲き誇る桜と菜の花

今月の一枚

▼いよいよ5月から「令和元年」がスタートしますね。ということで、今月号が平成最後の広報きほくです。少し寂しい気もしますが、新しい時代の幕開けにワクワクしています。(悠)



北宇和病院 院長
吉田 幸生
Yukio Yoshida

北宇和病院の内科では、月曜日から金曜日まで2人の担当医師が2診体制で外来診療にあたっていました。基本的に予約診療とさせていただいており、初診や予約外の患者さまは予約の患者さまの診療の間に診療させていただいているため、患者さまの集中する休み明けの月曜日や週末の金曜日には長時間お待ちいただくななど、ご迷惑、ご不便をおかけしていました。

そこで4月からは月曜日と金曜日に初診や予約外の患者さまを担当する医師を配置し、3診体制で診療することといたしました。これにより少しでも患者さまの待ち時間が短縮できればと考えています。

月曜日は4月に赴任してまいりました志賀医師が、金曜日は院長の吉田が第3診を担当する予定です。よろしくお願いします。

編集後記

▼「広報きほく」担当4年目に突入し、今月号から少しだけ中身のデザインをリニューアルしました。これからも皆さんに気軽に手に取っていただけるような、分かりやすい広報誌を目指します。町民の皆さんには取材等でご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、鬼北町の魅力発信のために、ご協力をお願いします。